

強い会社を創ろう！経営体質強化のための支援講座（22年10月開講）

経営活動の結果は、数字で示されます。講座では、毎月の月次決算を基に集約して改善点を探すことに挑戦します。

（年1回の決算を基にしては対処の機会を失います。）

問題のない会社は、ありません。問題を解決すればその分進歩します。

本講座は、そのキッカケづくりで各講座提供のシート類などは、貴社が受講後に自前で改善する時の指標となるものです。

No.	講座名	講座のネライ	期待する成果
A-1	<p>“会社の成績見える化”</p> <p>会社の月次決算を管理会計の視点で読もう！</p>	<p>①経営は、言葉でなく数字で捉える</p> <p>②P/L表で経営計画を作成</p> <p>③P/L, B/S及び両者の指標でチェック</p> <p>④インターネットに自社データを挿入して自己診断</p> <p>⑤さらに同業他社のデータを抽出して経営比較する</p>	<p>①会計部門は、指標を使い集約分析する</p> <p>②経営者層は、そのデータをみて現状を知り改善点を意思決定する</p>
A-2	<p>“企業として儲かる仕組みを考え出そう”</p> <p>いつまで待っても、世の中変わってくれません</p>	<p>①仕事が入ってこないという現状認識</p> <p>②自分達で自立していく方法を具体的に真剣に、考え出す仕組みを作る</p> <p>③自社の強みと時代の流れをマッチング</p> <p>④自立を目指す企業への、ものづくり各種の支援策</p>	<p>①外に向けていた目線を社内に戻し原点から見直す</p> <p>②外部には広く情報を収集</p> <p>③自立する企業像をイメージ</p>
B-1	<p>“コストダウンと新規開拓”</p> <p><前編>「収益向上のための生産管理の実際」 <後編>「製販一体化協力で新製品の設計と開発」</p>	<p>①生産管理（仕事の仕方）とは？ ☆Q（品質）C（コスト）D（納期）ひと（工程・改善）もの・きかい</p> <p>②コスト低減と収益向上の具体策</p> <p>③新商品を創ろう！新・旧の顧客様と新たな出会い</p> <p>④全員参加コーナー</p>	<p>①自前コスト低減目標設定と具体的成果の獲得</p> <p>②製販協力で新商品設計から成果実現具体的方法</p>
B-2	<p>“活きたJIT・5Sの定着で現場活性化”</p> <p>1. JITによる改善 2. 5S3定改善 3. 小集団活動による改善</p>	<p>①製造をとりまく環境の変化と強いモノづくり</p> <p>②JITの狙いと目標・改善事例など</p> <p>③経営と5S改善・5S活動のポイント</p> <p>④5S改善事例</p> <p>⑤小集団活動による改善 など</p>	<p>①JITの推進と定着</p> <p>②5S実践とチェックリスト活用で効果の確認</p> <p>③小集団活動を推進</p>
C-1	<p>“人を育て会社を発展！”</p> <p>社内で育てる仕組みを創る</p>	<p>①他社の好事例を学ぶ</p> <p>②後継者指導のツール（簡便法）を学ぶ</p> <p>③中小企業で人材育成出来ない問題への対策（教える時間や人材がない）</p> <p>④グループ討議で他社の情報を入手する</p> <p>⑤会社の力量をあげて国内外から受注を確保（ゼネプロ・カンパニーへ参加）</p>	<p>①他社の実践法、簡便法のツールを使ってOJTで技能向上</p> <p>②OJT⇒Off-JT⇒SDへ進め</p> <p>③今後100年間生きのびるため、今の仕事をしながら次の仕事を創る</p>
C-2	<p>“目標管理でモチベーションアップ！”</p>	<p>目標をたてその達成に努力し、達成できたかを評価するP⇒D⇒(⇒Aサイクルを組織の仕事の進め方に取り入れる。 さらに企業発展を促進し、社員のモチベーションを高揚させる。</p>	<p>①目標管理は、企業発展と正しい組織づくりのためのものであることを理解</p> <p>②その具体的実践方法を会得し、良いコミュニケーション、高いモチベーションを獲得する。</p>

〔註〕 講習は団体（商工会議所、工業会、協同組合、公的訓練施設等）を窓口に行います。1回定員15名以上、1名半日3千円。開催日時は、団体で決定します。